

< MZPF導入報告書 >

2008年6月13日



聖徳ゼロテック株式会社

< 目次 >

*、業務内容

A、社長の思い (1)

“” (2)

B、何で生産管理を必要とするか?

C、導入効果

D、M Z P F の事前心得

E、M Z P F の利点

F、M Z P F の問題点

G、その他

【業務内容】

♪ 業種：金型製作&プレス部品

(車載電装品、通信機器、制御機器)

■ プレス順送金型



ソフト完了

☆ ユニット型組付タイプ

■ プレス生産加工



開発中！！

☆ リピート生産方式タイプ

A、社長の思い

- 1、会社の健康状態をいつでも「タイムリー」に見たい！
 - 儲かっているか！損をしているか！
 - 今月の売上は！来月はと不安を解消し、安心へ。
- 2、全社員が「リアルタイム」に情報を共有化！
 - 受注状況と進捗状況及び、モノの動きが分かる。
 - 指示待ち人間を無くす。
 - 無駄な残業を省き、当日業務の判断指標にする。
- 3、日常業務の伝票類を簡素化したい！
 - 受注、購入品、外注品、発注、入出荷の伝票一元化
 - 記入の為の時間短縮及び記入ミス無くす。

4、日報の精度を上げたい！

- 現場作業は工程が複雑で一品料理が多い為に日報の記入が大変である。
- 加工原価の信頼性を上げて、見積りへ生かす。

5、見積りのスピード提供！

- 原価を管理することにより、原価割れを防ぐ。
- 見積り作業は大変時間が掛かる割には受注率は3割を切っている、無駄な作業に終わる場合が多い

6、会社の取り分と分配を明確にしたい！

- 社員及び家族の喜びを追及する。

B、何で生産管理を必要とするか！

- 1、受注から売上までの情報を全社で共有する。
- 2、全員の知恵を結集し、生産管理へ組込む。
- 3、会社の健康状態が一目で分かるようにする。
- 4、がんを見つけ早期治療をしていく。
- 5、データを積上げ、原価意識を追求する。
- 6、生産管理は会社の潜望鏡である。

C、導入効果

- 1、モノの動きが分かり、前準備ができる。
- 2、購入、外注の発注漏れ及び入荷状態が分かる。
- 3、金型は部品点数が約**200**点以上あるが、個々の部品の進捗状況が分かる。
- 4、受注状況と売上状況がリアルタイムで把握でき、異常か！正常か！の判断ができる。
- 5、バーコード処理により工数入力作業が軽減できる。
- 6、バーコード処理によりミスが無く、信頼性が上がり次なる見積りもスピーディに提供できる。

D、MZPFの事前心得

1、システムの構築

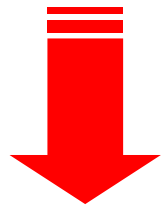
- 専任者がいるか！
- 技能レベルはどうか！
- システムのフロー設計はどうか！
- サポート体制はどうするのか！

2、トップの承認

- 何をしたいのか、目的を明確にする！
- ソフト、ハード合わせて計画する！
- 完了までの日程計画をつくる！
- 総費用の算定をつくる！

E、MZPFの利点

- 1、構築してしまえば殆ど費用は掛からない。
- 2、何台クライアント構築しても費用は同じである。
- 3、自社で自由に開発ができる。
- 4、全社員の知恵と改善を早期に変更できる。
- 5、全員参加型のソフトだから愛着ができる。



■原価意識、利益意識が芽生えてきた。

F、MZPFの問題点

- 1、初期の立ち上げはベンダー抜きでは無理。
- 2、専任者を置かないと構築は難しい。
- 3、構築までの時間が掛かりすぎる。
- 4、専任者の給与をどう見るかにより
パッケージがお徳用になる場合もある。

■会社の事情により判断は分かれる。



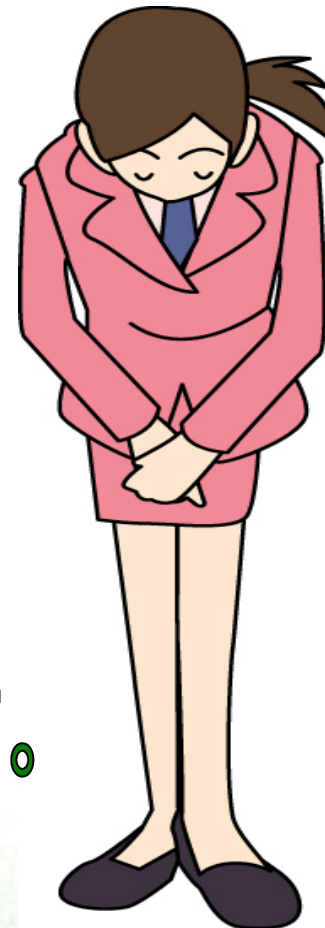
全てはトップの判断

G、その他

- 1、MZPFを構築して「**現場利益**」を明確にする。
- 2、「**やる気**」と「**利益**」に対して見返り報酬を出し、社員の喜びを追求する。
- 3、「**後継者教育**」をMZPFの面から指導すればスムーズに育成できる。

ご清聴ありがとうございました。

- 産業技術総合研究所 沢田チームリーダー様
- 産業技術総合研究所 吉田コーディネーター様
- 佐賀県工業技術センター 田中所長様
- コンピューターエンジニアリング(株) 秋吉課長様
- コンピューターエンジニアリング(株) 服部様



ご指導を頂き、感謝申し上げます。

